

Seasonal News Pomp and Classics!

季報 ポンプ&クラシックス!



一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

141-0022 東京都品川区東五反田5-24-9 五反田パークサイドビル5F

2019年2月28日発行 第23号 (季刊・毎年2、5、8、11月発行) 発行人:西村友伸 編集人:徳永英樹/堤 正浩

CLASSIC TEL 03-5488-6777 FAX 03-5488-6779 E-mail info@classic.or.jp https://www.classic.or.jp/

本紙タイトルの「ポンプ&クラシックス Pomp and Classics」とは、英国の作曲家エドワード・エルガーの名曲「威風堂々 (Pomp and Circumstance)」のタイトルを転用し、華やかにクラシック音楽を盛り上げていきたいとの想いから付けられました。

INDEX

P.1~P.2

アプリ「チラシクラシック」リリース記念対談

P.3 Activities

P.4 What's New 会員情報/今後の活動予定

P.5 会員一覧

P.6 エッセイ 吉田純子さん「音楽の現場を歩くということ」最終回

新春特別対談

～アプリ「チラシクラシック」リリース記念～

2018年10月25日(一社)日本クラシック音楽事業協会では、クラシック公演のチラシや情報をスマートフォンで検索・閲覧、チケット購入できるアプリ「チラシクラシック」を、賛助会員である株式会社イープラスの開発・運営支援の元、公開いたしました。これを記念し、西村会長(株式会社東急文化村取締役相談役)、橋本副会長(株式会社イープラス代表取締役会長)に対談していただきました。聞き手は入山筆頭副会長(株式会社AMATI代表取締役社長)です。



©池上夢貞(GEKKO)

入山 功一 筆頭副会長 観客の高齢化といった課題もあり、業界の閉塞感を打破したいというのが協会全体の願いです。その状況下、一つの手立てとして、チラシをスマートフォンで見られるアプリ「チラシクラシック」の導入に至りました。

西村 友伸 会長 5年前から東急文化村の人間としてクラシック公演の主催に関わっていますが、ホールでお客様を見ると、やはり高齢化がかなり進んでいると感じます。もっと裾野を広げていくために、一部二部で2時間というクラシックの公演のありかたをまずは模索してきたということもあります。そんな中で、チラシだけでのアピールはなかなか難しいかもしれないということで、今回「チラシクラシック」をスタートさせることになりました。

橋本 行秀 副会長 公演情報を伝えるツールとしてポスター、チラシは昔から存在していますが、ポスターは貼るところが限られてきており、かつてプレイガイド等で配っていたチラシ

も、最近では有料チケットで足を運んだ会場で配られることがほとんどです。その一方でデジタル化の進歩はめざましく、イープラスでも「チラシミュージアム」「チラシステージ」を開発、導入してきました。「チラシミュージアム」は5年前にスタート



西村友伸会長

©池上夢貞(GEKKO)

ト、今では登録者が約35万人、2000館ほどのミュージアムをネットワーク化しています。実際に利用して足を運んでいるのは若い方がかなり多いですね。

入山 「チラシクラシック」は昨年10月のスタート以来、

登録者が1月時点で約4000人となっており、その約6割が34歳未満となっています。

橋本 主催者自らチラシの登録ができること、そして登録料は無料であるところに「チラシクラシック」の簡易性があると思いますが、さらに公演が網羅されていくと、閲覧者は確実に増えていくと思います。

西村 Bunkamuraは昨年、改修工事のため4か月間閉館しましたが、11月の再オープン以降の公演のチケットが意外に売れなかった。実際に会場に足を運んでいただくことで、そこで目にしたポスターやチラシの情報によってさらに次の公演も足を運んでいただけるのだということを痛感しました。その意味で、従来のように配布されるチラシと、手軽に見られる「チラシクラシック」、その双方にメリットがあり、時間をかけて効果が出ていくものだと思います。

橋本 そのためにもやはり網羅性、それがもたらす信頼性が大切ですね。「チラシミュージアム」で言えば、割引クーポンがついているというお得感もある。GPSと連動することによって、今いるこの場所の近くの美術館でこんな展覧会があるということを知らせる仕組みもあります。「チラシクラシック」

(P2に続く)

も今後、いかに付加価値をつけていくかですね。

西村 「チラシクラシック」も導入にあたりチケットプレゼントの試みを実験的に行ない、実際、反応がありました。今後の課題として、アプリをどうダウンロードしてもらうか、それにはやはり、実際に公演会場で高揚感のあるときがいいのではないかと。劇場でも、いい公演を観たという高揚感のあるときに、リピーターチケットや次回公演のチケットがよく売れるわけです。そのためには各ホールの協力も今後必要になっていくと思います。



橋本行秀副会長

©池上夢貴(GEKKO)

橋本 「チラシクラシック」の利用者の評価を見ると、星5のうち4以上と高い評価が出ていて、利用者には非常に好評なんです。チケット販売と連動させる、さらには当日券情報とも連動させていくようになると、利用者にとって魅力が増していくと

思います。

入山 確かに、このアプリからさらにチケットが買いやすくなる仕組み作りが必要ですね。

橋本 不要なアプリはどんどん消されていくんです。それだけ競争が激しいんですが、これは便利だと思われれば、消されない。そうやっていくまでエネルギーをかけて広めていくことが必要だと思います。

入山 若い層、ライト層へのアピールも含め、「チラシクラシック」が、クラシックのプラットフォームになってくれたらという思いがあります。



入山功一筆頭副会長

©池上夢貴(GEKKO)

西村 オーチャードホールで開催している、アニメやゲーム音楽のコンサートには、若いお客様が多いんです。ゲーム音楽といってもオーケストラが演奏するわけで、そこからクラシック音楽に親しむきっかけが生まれればと思っています。

橋本 かつてはマイナージャンルとされていたアニメ等のイベントが非常に観客を集めているという現状があり、オーセンティックな公演の周辺にあるものの方がハードルが低くて入りやすいということはあるですね。フィギュアスケートにしても、使用されているのはクラシック音楽が多いわけで、これまでのクラシック業界とは異なるところでどう観客層を掘り起こしていくかということだと思います。

西村 何百年も前から続いてきたクラシック音楽という芸術文化をどう次世代に手渡していけるか。そして、海外との文化交流も含め、世界との架け橋としてさらに業界を活性化させていきたいですね。

文・構成＝藤本真由(舞台評論家)



■アプリの主な機能



チラシ画像の保存可



裏面も掲載



公演情報&チケット購入



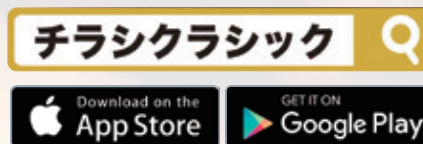
会場アクセス&地図



チラシをシェア



検索も充実



<http://eplus.jp/ccl/>

iOS10以上 Android4.4以上
Appleロゴは、Apple Inc.の商標です。App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。| Google Playロゴ、Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。



平成31年新年会 開催報告

1月10日 eplus LIVING ROOM CAFÉ&DINING

(東京・渋谷区)

平成31年の新年会が、1月10日、渋谷のeplus LIVING ROOM CAFÉ&DININGにて開催されました。新年会には正会員・賛助会員の皆様、役員各位の総勢約140名のご出席をいただき盛大に開催されました。

西村会長の新年挨拶



冒頭、西村会長の年頭の挨拶では、平成最後の年、東京2020を翌年に控え、クラシック音楽の素晴らしさをより多くの方々に届ける使命に立ち返り、会員がより団結してクラシック界を盛り上げてゆこうと新年の挨拶が述べられました。

続いてご来賓の経済産業省、文化庁の皆様がご紹介され、来賓を代表して文化庁の坪田参事官より祝辞が述べられました。坪田様からはオリパラを機に文化の集大成のイベントである日本博を立ち上げ、インバウンド4000人を目指し、地方にも訪日客をまわしてアジア全体を巻き込んで日本文化を世界に発信していきたい、又、芸術教育が文化庁の所管となり伝統音楽を含めてクラシック音楽を中心に進めて行きたい等の激励のご挨拶をいただきました。

文化庁坪田参事官の祝辞



乾杯は地域創造会長で本会顧問の遠藤安彦様のご発声により、地域創造が全国の公共ホールを中心に展開しているアウトリーチ活動のなかでも、特にクラシック音楽が障害児等に有効な影響を及ぼす効果が高い等の応援メッセージを頂き、新年の幕開けに相応しいヴェルディ作曲の歌劇「椿姫」乾杯の歌が藤原歌劇団のご協力により奏でられ、華やかに開宴となりました。



乾杯の歌～遠藤顧問、相楽和子さん(ソプラノ)、藤田卓也さん(テノール)

新年会では会員各位ご推薦のアーティストの皆様による演奏が会場を包み込み、新年会に相応しい美しい音色で華を添えていただきました。

尚、今回の新年会の開催にあたり、賛助会員のイープラス様、正会員の日本オペラ振興会・藤原歌劇団様には格別のご協力をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

Activities

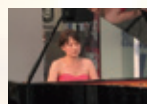
- 10月2日～6日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業 鹿児島セッション 伊佐市公演
- 10月6日 [共催事業] アートマネジメント講座“ファンづくりのイロハ” 特別講座
- 10月11日 平成30年度第2回執行役員会、第2回定例理事会
- 10月16日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業 秋田セッション 派遣アーティスト1次審査
- 10月25日 スマートフォンアプリ「クラシクラシック」リリース
- 10月26日 関西地区連絡協議会ワーキンググループ
- 11月1日～4日 第36回 FACPカンファレンス in 釜山
- 11月16日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業 秋田セッション 派遣アーティスト2次審査
- 12月11日～16日 [協会受託事業] 公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業 鹿児島セッション 長島町公演
- 12月12日 関西地区連絡協議会 第2回ワーキンググループ及び協議会
- 12月15日～16日 日本音楽芸術マネジメント学会第11回冬の研究大会
- 12月26日 [協会受託事業] 年末ジャンボ抽せん会&特別コンサート リハーサル
- 12月31日 [協会受託事業] 年末ジャンボ抽せん会&特別コンサート
- 1月10日 統括執行役員会、平成30年度第3回理事会、平成31年新年会

※1月以降の詳細は次号で報告いたします

●宝くじドリーム館

ランチタイム(トワイライト)・クラシック・コンサート

東京と大阪にある宝くじドリーム館にてほぼ毎月1度行われる、1時間の無料コンサートの企画制作を協会にて行っています。毎回立ち見の出る盛況ぶりです。



10月17日 東京
出演: 岩崎 洵奈/ピアノ(コンサートイマジン所属)



10月18日 大阪
出演: 森岡 有裕子/フルート(ミليونコンサート協会所属)
永田 美穂/ピアノ



11月21日 東京
出演: 坂口 昌優/ヴァイオリン(ミليونコンサート協会所属)
鶴見 彩/ピアノ



11月22日 大阪
出演: 神代 修/トランペット(ミليونコンサート協会所属)
小谷口 直子/クラリネット(ミليونコンサート協会所属)
中桐 綾奈/ピアノ



12月19日 東京
出演: 小野 明子/ヴァイオリン(アスペン所属)
高橋 多佳子/ピアノ(ミليونコンサート協会所属)



12月20日 大阪
出演: 白石 光隆/ピアノ(プロ アルテムジク所属)
田中 靖人/サクソフォン(プロ アルテムジク所属)

※1月以降の詳細は次号で報告いたします

What's New

会員情報

[人事]

正会員 C 株式会社トッパンホール
代表取締役社長 大久保 伸一
協会担当者 西巻 正史
〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3
TEL 03-5840-2200 FAX 03-5840-1515

[法人名称変更]

賛助会員 旧:一般社団法人大阪交響楽団
新:公益社団法人大阪交響楽団

[協会担当者変更]

賛助会員 びあ株式会社
新担当 市川 恵理 (ライブ・エンタテインメント二部第二ユニット)

[休館予定]

正会員 B 東京オペラシティコンサートホール
設備改修工事の為休館 2021年1月18日(月)～4月30日(金)

[退会]

賛助会員 一般財団法人ヤマハ音楽振興会

※敬称略、順不同。上記は協会事務局へお知らせいただいた件だけを掲載しております。

今後の活動予定

●2019・2020年度を任期とする役員選出 *正会員対象

2月1日(金) 公示
2月15日(金) 選挙告示(立候補・推薦の受付開始)
3月1日(金) 立候補・推薦の受付締め切り
3月8日(金) 予備選挙告示(投票受付開始)
3月22日(金) 予備選挙投票締め切り

●2019年2月27日(水) クラシック音楽事業ガイド 会員情報入稿締切

2年に一度発行している「クラシック音楽事業ガイド」の2019～2020年度版は、2019年6月末発行予定です。

●2019年3月7日(木)14:00～16:00 平成30年度第2回会員研修会「公演中止(延期)の対応策とキャンセル対処法 その2」

会場:FORUM8 802会議室(渋谷)
費用:無料
ゲスト(予定)／堀田 栄作 (関西二期会 事務局長)
本波 敏 (岩手県民会館 事業部)
桑野 雄一郎 (弁護士・高樹町法律事務所)
コーディネーター 入山 功一 (AMATI 当協会筆頭副会長)

実演団体・ホールのそれぞれのゲストから、台風・大雪等による交通不通時、警報発令時の対応や、二次災害・自粛ムードによる公演中止(延期)の事例など、お話を伺います。また不可抗力の定義について、法的見地から専門家のアドバイスを頂きます。参加者同士、より多くの事例を共有していただき、会員各位の活動に役立つ情報として今後まとめていく予定です。

●2019年3月8日(金) 平成30年度第4回定例理事会

●宝くじドリーム館

ランチタイム／トワイライト・クラシック・コンサート

■3月13日 東京
坂口 昌優／ヴァイオリン(ミリオコンサート協会所属)
長谷部 一郎／チェロ(ブレルーディオ所属)
新居 由佳梨／ピアノ(プロ アルテムジケ所属)

■3月14日 大阪
中川 賢一／ピアノ(プロ アルテムジケ所属)
新崎 誠実／ピアノ(音楽芸術家協会所属)
白石 光隆／ピアノ(プロ アルテムジケ所属)

■4月17日 東京
大森 潤子／ヴァイオリン(ミリオコンサート協会所属)
金子 三勇士／ピアノ(ジャパン・アーツ所属)

■4月18日 大阪
喜名 雅／チューバ(プロ アルテムジケ所属)

■5月15日 東京
糸賀 修平／テノール(二期会21所属)

■5月16日 大阪
蘭田 真木子／ソプラノ(二期会21所属)
白石 光隆／ピアノ(プロ アルテムジケ所属)

※4月以降も開催します。

♪♪ゴルフを楽しみませんか♪♪

「第40回クラシック音楽健球会(GOLF)」のご案内

クラシック音楽健球会会長 中坪功雄

40回記念として、我が国トップクラスの名門として名高い川奈GCでGOLFコンペを開催します。会員以外でゴルフ好きのご友人、ご関係者も歓迎です。皆様どうぞお誘いあわせの上、奮ってご参加ください!

日程:2019年3月27日(水)

ゴルフ場:川奈ホテルゴルフコース(大島コース)(伊東市川奈1459)
TEL 0557-45-1111 <http://www2.princehotels.co.jp/golf/kawana/>
スタート時間:09時30分を予定(変更もあります)

参加費:(変更もあります)

コンペバック料金予定 22,000円～28,000円
(プレイフィー、キャディーフィー、カート代(4人利用の場合)、昼食代)
+パーティー代2,500円+ドリンク代別+お楽しみ代2,300円
宿泊バック料金予定:40,000円～50,000円
(ツインのシングルユース宿泊費、朝食代)

競技方法:新ベリア方式

お申込締切:3月11日(月)

お申込・お問合せ:健球会事務局

(株)ジャパン・アーツ 大沼千秋
ohnuma@japanarts.co.jp

クラシック音楽事業ガイド 2019-2020

2019年6月末発行予定

これは便利!



クラシック音楽関係者必須のガイド・ブック

●日本のクラシック音楽活動を担う音楽事務所、コンサートホール、音楽関連公益法人など、本協会会員の90法人の紹介。さらに、●アーティスト一覧 ●関連機関団体名簿 ●全国のコンサートホール名簿 ●クラシック音楽活動をサポートする企業各社の広告 など、今すぐ役立つ情報がコンパクトにまとめられています。全国の大手楽譜・音楽書取扱店ほか、協会事務局でも発売中。

定価■本体952円+税
発行■一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

チラシクラシック
CHIRASHI CLASSIC



クラシック公演情報と チラシが無料アプリで

チラシ画像保存
地域・日付・ジャンル検索
公演情報&チケット購入
公演ご掲載も無料、簡単!

チラシクラシック



お問合せは当会まで



CLASSIC

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

JAPAN ASSOCIATION OF CLASSICAL MUSIC PRESENTERS

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会は、71年の歴史を誇る日本で唯一のクラシック音楽に関わるマネジメント、ホール、演奏・創造・教育団体、メディア等を網羅した内閣府認可の事業者団体です。潤いのある豊かな社会を目指してクラシック音楽に係わる関係者が一同に集い、クラシック音楽の普及事業と音楽文化の発展に向けた様々な活動を会員と手を携えて展開しています。

クラシック音楽の普及事業

クラシック音楽の普及に向けて「チラシクラシック」「子ども青少年普及プロジェクト」等の普及事業を開催する他、人材育成として研修会やシンポジウム等も定期的に開催しています。

音楽文化の発展の為の事業

音楽文化の発展に向けたマーケティングリサーチ等の調査・研究、クラシック音楽事業ガイドの発刊等の情報提供、アジアや欧米の国際機関団体との交流の他に、全国のホールと連携したアウトリーチ事業や、公的機関等の文化催事等も積極的に展開しています。

正 会 員 〈平成31年2月28日現在〉

朝日新聞社企画事業本部・浜離宮朝日ホール
(株)アスペン
(株)アートクリエイション
(株)AMATI
いずみホール
(株)1002
エイベックス・クラシックス・インターナショナル(株)
(株)NHKプロモーション
(株)王子ホール
(有)大阪アーティスト協会
(株)大阪アートエージェンシー
(株)オカムラ&カンパニー
(株)オフィス・フォルテ
(株)音楽之友社
(公社)関西二期会
(有)クラシック名古屋

(株)クリスタル・アーツ
Kトレーディング(株)
コンサートイマジ
(株)ザ・シンフォニーホール
(株)ザ・スタッフ
(株)CBCテレビ 事業局事業部
(株)シド音楽企画
(公財)ジェスク音楽文化振興会
(株)ジャパン・アーツ
(株)新演
(一社)全日本ピアノ指導者協会
(株)テンポプリモ
(株)東急文化村
(公財)東京オペラシティ文化財団
(株)東京コンサート
(株)トッパンホール

伝統芸能(株)ナカツボ・アーツ
(株)二期会21
(公財)日本オペラ振興会
(株)ノジリススタジオ
ハーモニージャパン(株)
Hakuju Hall
(株)パシフィック・コンサート・マネジメント
(株)ブライトワン
ブラームスホール協会
(株)プレルーディオ
(株)プロ アルテ ムジケ
(株)ミツマ・ミュージックプロダクツ
(株)ミリオンコンサート協会
(一財)民主音楽協会

賛 助 会 員 〈平成31年2月28日現在〉

あいおいニッセイ同和損保・フェニックスホール
(株)朝日放送 イベント事業部
(株)イープラス
上野学園石橋メモリアルホール
(公社)大阪交響楽団
(一財)小野文化財団
コジマ・コンサートマネジメント
サントリーホール
(学)尚美学園
昭和音楽大学
スタインウェイ・ジャパン(株)
(有)ソナレー・アートオフィス

(公財)ソニー音楽財団
第一生命ホール
(株)旅工房 国際旅行事業部
(株)中京テレビ事業
(株)TBSテレビ
(株)デザイン・グリッド
(株)テレビ朝日 総合ビジネス局
(株)テレビ東京 営業局 営業・事業センター イベント事業部
(株)テレビマンユニオン 音楽事業部
(株)電通ミュージック・アンド・エンタテインメント
東海テレビ放送(株)
(株)東京MDE(月刊ぶらあぼ)

(株)東京国際フォーラム
東京労音
東武トップツアーズ(株)関西支社
(公財)都民劇場
ナカダ音楽事務所
日本経済新聞社文化事業局文化事業部
びあ(株)
兵庫県立芸術文化センター
(公財)びわ湖芸術文化財団 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
フェスティバルホール
毎日新聞社事業本部
(株)毎日放送事業局

(株)松尾楽器商会
三重県文化会館
三井住友海上しらかわホール
ミュージウエスト(株)
宗次ホール
ヤマハ(株)
読売新聞社東京本社文化事業部
(公財)ローム ミュージック ファンデーション

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

〒141-0022 東京都品川区東五反田5丁目24番9号 五反田パークサイドビル5F

JAPAN ASSOCIATION OF CLASSICAL MUSIC PRESENTERS

TEL:03-5488-6777 FAX:03-5488-6779

URL: <https://www.classic.or.jp> e-mail: info@classic.or.jp

事務局移転のお知らせ

事務局を下記に移転いたしました。

記

〔新住所〕 〒141-0022

東京都品川区東五反田5-24-9五反田パークサイドビル 5F

〔新TEL〕 03-5488-6777 〔新FAX〕 03-5488-6779

(電話およびファックス番号が変わりました。)

以上



【五反田駅】JR東口／都営浅草線A7出口／東急池上線出口から、徒歩約3分。
桜田通りから花房山通りへ入り、1階に(株)ワースの看板のあるビルです。

音楽の現場を歩くということ

吉田純子《最終回》

高校の時の公民の先生が、ちょっと変わった人だった。大江先生というのだけれど、1年間、ひたすら生徒たちに中江兆民の「三酔人経綸問答」を読ませるのだ。西洋を理想とする近代化の必要性を説く「洋学紳士」と、国権主義にひた走る情熱的な「豪傑君」、この2人の訪問を受けた「南海先生(＝兆民)」の3人が、酒を酌み交わしながら、あるべき国のかたちを模索して、ひたすらグダグダと議論を続けるのである。

受験校とはいえ、和歌山の普通の公立高校のこと。内職している生徒を見つけても、大江先生は意に介さぬ風情だった。私自身も芸大受験を前に、膝の上でこっそり和声法のバス課題を解いていたこともあった。それでも大江先生の、刈り上げのゴマシオ髪を載せた赤ら顔(恐らく、常に酒が残っていたのだと思う)と、「三酔人」を朗読するときのもっともらしい、ちょっぴり得意げな口調だけは、なぜか今でも鮮烈に覚えている。

いま思うと、大江先生にというより、歴史が生まれる、または変わる瞬間の時代のざわめきのようなものを知性で感じること、つまり教養で世界とつながることへの本能的な「憧れ」を、当時の私は感じていたのだと思う。多感な時期の子どもには、知識を「与える」ことより、想像の翼を広げる面白さを「感じさせる」ことの方が大切なのだ。そんな硬派なことを、大江先生は無頼を気取りつつ、独り考えていたのかもしれない。

なぜこんなことをいきなり音楽業界の機関誌に書いているかというと、この種の「憧れ」こそが、今後のクラシック音楽業界を救うカギになるのではないかと最近、思うようになったからだ。商業主義的発想と適度に袂を分かちつつ、いかに多くの人々の「憧れ」を創出していくことができるのか。そして、長い歴史によってはぐまれてきたクラシックの比類ない多様性を、いかにポジティブに現代の人々にアピールすることができるのか――。

映画監督の実相寺昭雄さんが、ショスタコーヴィチやモーツァルトへの愛情を創作の力にしていたことはよく知られている。バレエダンサーの熊川哲也さんは、「僕にとって、音楽がすべての源。音楽がなければ踊りもない」と、踊りとほぼ等価の情熱を音楽の探究に費やしている。クイーンの「ボヘミアン・ラブソング」には、細部を聴けば聴くほど、さまざまな天才の知恵の集積であるクラシックの作曲技法への憧憬を感じずにいられない。

クラシック音楽が、無条件の権威である時代は終わった。吉田秀和さんがフィッシャー＝ディースカウのことを誉めたこと、彼のリサイタルが開かれる東京文化会館の前に3日越しの行列ができた、などという伝説は、もう過去のものだ。それでも、と思う。「権威」ではなくなっても、「憧れ」で在り続けることはできるのではないか。かたちなき音楽こそ、

未知の世界へと向ける「憧れ」を、人生を豊かに生き抜くおおらかな力へと変えることのできる唯一無二の芸術なのではないか。

そもそもクラシックは、たゆみない異文化との化学反応の歴史によって培われてきた芸術である。バッハがいまなお、ジャズを筆頭に、あらゆる音楽ジャンルで多様なインスピレーションの源になっているのはなぜか。当時の交易の影響で、アフリカやスペイン、フランス、イタリアなど、多様な地域の民族のリズムがバッハのなかに流れこみ、その音楽においてすべてが融合しつつ、今なお息づいているからだ。比類ない多様性と抽象性こそが、バッハの芸術の揺るぎなさの原点といっていい。

さらに音楽は、時代そのものを他の何より克明に叙述する。王政から市民社会の時代へと移り変わる時代を「追体験」するには、フランス革命前夜に書かれたモーツァルトの「フィガロの結婚」を見る(聴く)のが近道だ。タイムスリップに興奮しつつ、今もかわらぬ愚かでいい人間の本質を、若い世代ほどビビッドに感じることだろう。

何よりいま、「権威」が崩れ落ちたがれきの中で、自身の感興に正直に生きる快楽に目覚めた新たな聴衆が生まれつつある。このことを証明したのが、昨今のテオドル・クルレンツィスとムジカエテルナ、パトリシア・コパチンスカヤの公演の熱狂だろう。自身の生い立ちを強いアイデンティティにし、クラシック界の常識をどんどん覆している「革命家」たちが確実に集客を増やしていることに、私はわくわくしている。日本でも佐藤俊介、藤倉大、鈴木優人、山田和樹、小菅優ら、「本場」の権威に縛られず、軽やかに出会いを広げ、自分たちの足場を着実に広げている世代から、新たな時代の胎動を存分に感じ取ることができる。

芸術には、「大衆」という強固な結び目をほどこ、ひとりひとりを「思考する個人」へと戻す力がある。いつの時代も、芸術が大きな権力の前に消えた(消された)先に、憎むべき戦争が起きている。私たちが担っている真の使命は「消費されぬ精神文化の構築」である。「売れないものをつくっている」という自虐のぬるま湯の中で嘆き合っているうちに、東京オリンピックという巨大な商業主義の祭典は、いつのまにか目の前に迫っている。

多くの人々の「憧れ」を担い、「憧れ」を創出しているという矜持を、この原稿を読んでくださったひとりでも多くの関係者に胸に刻んでいただけたら――。若輩者の高邁なつづきやき、最終回に免じてお許しいただければ幸いに思う。

吉田純子

1971年和歌山市生まれ。1993年東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、1996年同大学院音楽研究科(西洋音楽史)修了。在学中はピアニスト、音楽ライターとして活動。1997年朝日新聞社入社。仙台支局(警察、市政担当)、東京本社芸芸部(家庭面)、整理部(地方版)、広告局広告第4部(金融、ゴルフなど担当)、文化部(音楽、舞踊担当)、西部本社(福岡)勤務を経て、2018年4月より東京本社文化くらし報道部次長。



ピティナ・ピアノ曲事典

登録作曲家 約1,700人、登録曲 6万曲以上

古今東西のピアノ曲を集めた無料データベースです

楽曲解説、演奏動画を数多く提供中

閲覧数は年間約 2,500 万 PV

ピアノ曲事典

検索

<https://enc.piano.or.jp/>



広告募集中

発行部数: 600部

配布対象: 協会会員・関係団体・官公庁等

年4回発行(2月、5月、8月、11月予定)

料金: 1 枠(天地58mm×左右92mm) 1万円(消費税別)

お問い合わせ: 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

TEL. 03-5488-6777

E-mail. info@classic.or.jp